

2024

9

No.335

「だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現」をめざして

いばらきの 社会福祉

Social Welfare of IBARAKI

ふくし“きらり人。”
任命しました！



ふくし“きらり人。”額賀 悠介 さん

Contents

- 2 3 ちいすけイバラキ
～介護助手等普及推進事業～
- 4 令和5年度事業実績報告・決算、
令和6年度事業計画・予算
- 5 地域における公益的な取組みについて
水戸地区社会福祉法人連絡会の活動紹介
- 6 7 ふくし“きらり人。”
社会福祉法人正和会
額賀 悠介 さん

- 8 ・「いばらき在宅ケアハラスメント相談窓口」
にご相談ください
・令和6年度福祉サービス苦情解決研修会開
催のお知らせ
- 9 ・協働型災害ボランティアセンター
運営セミナーを開催しました
・進学される方を応援しています
～教育支援資金貸付制度のご案内～
- 10 社会福祉事業従事者研修のご案内
- 11 インフォメーション
- 12 わかち合おうみんなの善意



はんどちゃんの紹介

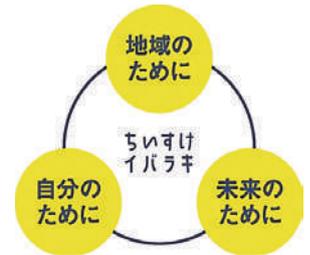
はんどちゃんは、「福祉コミュニ
ティづくり県民運動」のキャラク
ターとして茨城県社会福祉協議会、
茨城県内の市町村社会福祉協議会
を中心に活躍しています。

この広報誌は一部赤い羽根共同募金の配分を受けています。



ちいすけイバラキ

～介護助手等普及推進事業～



背景

少子高齢化の進行により、生産年齢人口が減少する中、最近の厚生労働省の発表によると、2040年度には約57万人の介護職員が不足すると見込まれています。さらに、介護分野の有効求人倍率は、全産業と比較して高い傾向にあり、介護人材の確保が一段と厳しくなることが想定されています。

このような中、国においては、多様な介護人材の確保や介護現場の生産性の向上の推進など、総合的な介護人材確保対策に取り組むこととしており、本会では、令和5年度から県の受託事業として介護助手等普及推進事業を開始しました。

介護助手とは

介護専門職の助手や補助として、介護現場をサポートする存在です。

施設内の清掃やリネン交換、食事の準備や片付け、利用者の話し相手、送迎ドライバーなど、身体に触れない仕事をします。

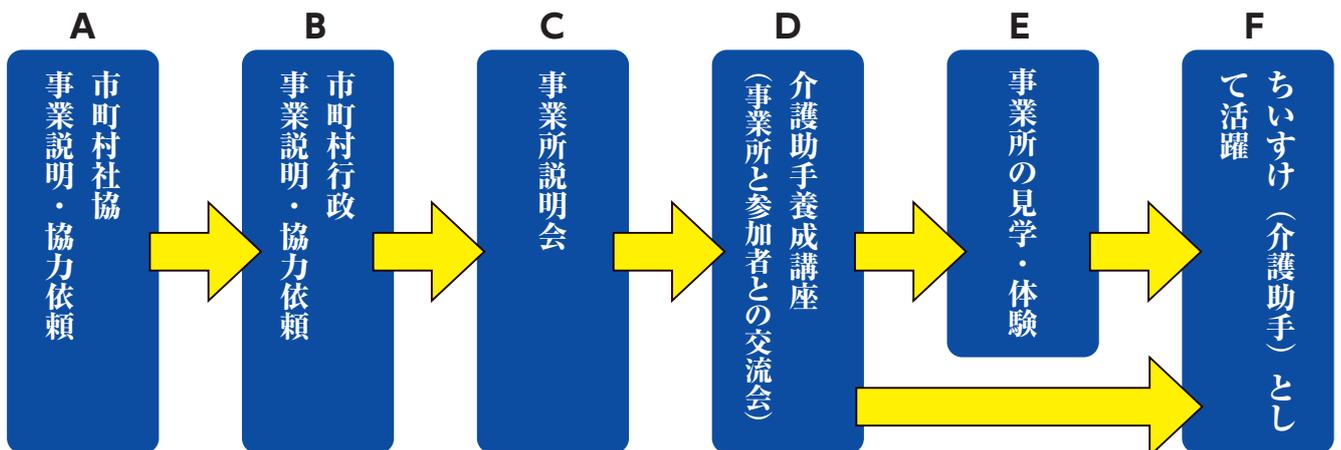
ちいすけイバラキとは

県社協とNPO法人ちいきの学校が協働し、“ちいすけⅡ ちいきの助っ人の略” 介護職員（介護助手）を県内に普及させる取り組みです。介護職員の負担軽減、それに伴い期待できるサービスの質の向上、また、一人ひとりの“生活のリズム”、“とくい”、“好きなこと”に合わせた多様な働き方を創出することにより、介護人材確保に貢献し、茨城を元気にしていきます。



ちいすけが誕生するまで

この事業は、市町村単位で展開しており、流れは下図のとおりです。



・市町村社協、行政への事業説明・協力依頼（A・B）

介護人材の確保をするためには、関係機関・団体との連携が重要であると考え、社協のネットワークを生かし、市町村における人材確保の取り組みと協働できるよう、まず事業の説明に伺います。話をする中で、市町村社協や行政が持つ地域課題の解決や推進する事業と連携できることもあり、地域に合わせた事業展開ができるのも特色の一つです。

・事業所説明会（C）

事業所が介護助手の役割を認識し、職場環境の改善や業務負担の軽減等を図る上で介護助手の活用を検討する機会として開催します。

実際に介護助手を導入している事業所から、導入の効果や留意点等についても説明をします。

・介護助手養成講座（D）

福祉の仕事に興味がある方等を対象に、介護の基礎的な知識を身に付ける講座を開催し、また、事業所と参加者との交流会も行い、採用・就労に向けた可能性を検討する機会とします。

・介護助手養成講座終了後（E・F）

県社協の福祉人材センター機能により、介護助手養成講座の参加者のうち、希望される方には施設見学や体験の調整を行い、また、ちいすけ（介護助手）として就労を希望する方には、受入事業所を紹介します。

ちいすけの養成

令和5年度は、7市町で開催し、事業所説明会には48事業所、介護助手養成講座には139名に参加していただきました。

その内、8名が事業所に採用され、活躍しています（令和6年8月1日現在）。

令和6年度は、県南・鹿行地区を中心とした18市町村で開催を予定しており、その準備をすすめています。



ちいすけイバラキ（古河市）養成講座の様子

ちいすけ に聞いてみました

県社協ホームページ
QRコード▶



令和6年2月に介護助手養成講座を受講し、社会福祉法人克仁会 特別養護老人ホーム恵苑（ひたちなか市）で、4月からちいすけとして活躍しているIさんにお話を伺いました。

娘から勧められ、「将来的に母親の介護が必要となったとき役立てばいいな」との思いもあり、介護助手養成講座に申し込みました。

福祉の現場は全く初めてで、講座の受講がきっかけで福祉に興味を持ち、「最初は隙間時間にボランティアをしてみよう」と考えましたが、「賃金が発生した方が、自分も責任を持って仕事ができるし、事業所も仕事を頼みやすい」と思い、介護助手として働くことを決めました。

普段の仕事は、自営業ですが、希望する勤務条件を恵苑が受け入れてくれたので、自営業の合間に、1日2時間、週2日で主に入浴補助の仕事をしています。

Iさんは、介護助手養成講座で学んだ「相手を否定せず、まずは共感する」ことを心掛けています。この想いは、施設の職員や利用者にも届き、「積極的に利用者様に声掛けをしてくれるし、いつも明るいので、すっかり施設になじんでいる。ちいすけが居てくれて助かっている。」と恵苑では言います。

福祉と出会い、自分の生活のリズムに合わせて働くちいすけです。

令和5年度事業実績報告・決算

令和5年度は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが「5類」に移行した結果、地域における様々な活動が再開されるなど、コロナ禍前の活気を取り戻してきた1年でした。

しかし、一方で、コロナ禍をきっかけとした仕事の減少に伴う収入減などにより、令和5年の生活保護申請件数は全国で25万件を超え、この10年余りで最も多くなりました。また、本県内での大雨による水害のほか、能登半島地震など、大規模災害が相次ぎました。

こうした中、本会では、行政や市町村社会福祉協議会をはじめ、各社会福祉関係機関・団体等と連携を図りながら、「だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現」を基本理念とする「第5次茨城県地域福祉活動推進プラン」に基づいて、各種事業を展開しました。

県社協の主な取り組み

●新型コロナウイルス感染症の影響に伴う緊急小口資金等特例貸付に係る償還及び債権管理の継続

令和2年3月25日から令和4年9月末までの間に決定した、計72,841件275億円超の貸付について、借受人からの申請に基づき、国の基準に従って手続きを行い、計5,240件21億1千万円の償還を免除

●福祉事業所従事者研修の充実開催

福祉事業所の従事者がその技術や能力を高めて就労を継続できるよう、多様な階層や分野に対応する研修事業を計画し、一部対面形式に戻すなど研修効果を鑑みながら、オンライン形式と併行して実施

●災害時福祉支援活動の充実、強化を図る研修会の開催

チームリーダー養成及びスキルアップ、県災害派遣福祉チーム員(DWAT)登録のための研修会を開催。また、「いばらきDWAT」として初めての活動となった、能登半島地震被災地支援における活動内容の共有や課題整理等のための活動報告会を開催

●成年後見制度の利用促進

新任担当者研修や検討会、家庭裁判所など関係機関との意見交換会を開催

●eスポーツを通じた高齢者と高校生との世代間交流会等の開催

eスポーツには人との交流による高齢者の認知機能の改善や孤立の解消の効果が期待できることから、高齢者を対象としたeスポーツの体験会や高校生との世代間交流会を開催

令和5年度一般会計決算報告

【収入の部】		(単位：千円)
勘定科目	決算額	
会費収入	22,717	
寄附金収入	11,752	
経常経費補助金収入	286,932	
受託金収入	119,837	
貸付事業収入	110	
事業収入	21,226	
負担金収入	6,758	
受取利息配当金収入	90,489	
その他の収入	71,782	
施設整備等寄附金収入	135	
貸付資金補助金収入	465,841	
積立資産取崩収入	614,499	
生活福祉資金会計繰入金収入	672	
その他の活動による収入	831,580	
前期末支払資金残高	603,416	
収入合計	3,147,746	

【支出の部】		(単位：千円)
勘定科目	決算額	
人件費支出	248,957	
事業費支出	707,771	
事務費支出	25,425	
分担金支出	1,479	
助成金支出	51,389	
負担金支出	480	
施設職員退職手当事業支出	15,618	
固定資産取得支出	2,939	
基金積立資産支出	3,306	
積立資産支出	434,081	
生活福祉資金会計繰入金支出	57	
その他の活動による支出	879,576	
予備費支出	0	
当期末支払資金残高	776,668	
支出合計	3,147,746	

令和6年度事業計画・予算

令和5年は観測史上最も暑い年と言われ、世界的規模での異常気象に見舞われ、本県も度重なる記録的な豪雨により大きな被害を受けました。

また、令和6年元日に発生した、石川県能登地方を震源とする大地震では、建物の倒壊や火災、津波等により多くの住民が犠牲となったほか、道路の寸断や電気、上下水道といったインフラにも甚大な被害をもたらしました。現在も、国を挙げての懸命な復旧・復興支援活動が続いており、本県からも、本会や市町村社会福祉協議会などの職員を被災地に派遣し、継続的な支援を行っています。

コロナ禍を乗り越え、社会経済活動が活発化したことは明るい話題ですが、長引く円安や物価高騰、急激な人口減少、著しい人材不足への対応が喫緊の課題となっており、先を見通すことが困難な時代の転換点に立っていると云えます。

このような状況の中、本会では、新たな5か年計画である「第6次茨城県地域福祉活動推進プラン」に基づき、その基本理念である「だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現」を目指してまいります。

第6次プランの重点目標

- 住民参加と福祉コミュニティづくりの推進
- 福祉サービス利用者への支援
- 社会福祉事業の充実・活性化への支援
- 新たな生活課題への対応
- 県社協の組織の充実

令和6年度一般会計予算

【収入の部】		(単位：千円)
勘定科目	予算額	
会費収入	23,090	
寄附金収入	11,612	
経常経費補助金収入	305,321	
受託金収入	135,629	
貸付事業収入	218	
事業収入	20,419	
負担金収入	4,646	
受取利息配当金収入	85,323	
その他の収入	24,241	
貸付資金補助金収入	214,861	
積立資産取崩収入	693,365	
生活福祉資金会計繰入金収入	1,083	
その他の活動による収入	800,856	
前期末支払資金残高	582,848	
収入合計	2,903,512	

【支出の部】		(単位：千円)
勘定科目	予算額	
人件費支出	269,395	
事業費支出	841,132	
事務費支出	38,361	
分担金支出	1,479	
助成金支出	61,489	
負担金支出	1,528	
施設職員退職手当事業支出	17,346	
基金積立資産支出	2,947	
積立資産支出	499,525	
生活福祉資金会計繰入金支出	92	
その他の活動による支出	862,260	
予備費支出	93,097	
当期末支払資金残高	214,861	
支出合計	2,903,512	

地域における公益的な取組について

水戸地区社会福祉法人連絡会の活動紹介

「社会福祉法人」は、高い公益性と専門性のもと、様々な社会福祉事業を行っています。平成28年の社会福祉法の改正により、本来から法人で行っている社会福祉事業だけでなく、これまで培ってきた専門性を生かして、地域住民を支え、地域の新たなニーズに応える取組を行うことが、社会福祉法人の責務として規定されました。この取組みを「地域における公益的な取組」と言います。今回は、水戸市に事業所のある社会福祉法人で組織されている「水戸地区社会福祉法人連絡会」の活動を紹介します。

水戸地区社会福祉法人連絡会 事務局 中崎 恵さん（水戸市社会福祉協議会 地域福祉課長）

「フードパントリー事業で深まる福祉の連携、福祉の和」 ～51の法人が集い、それぞれの専門性を生かした活動へ～

2020年に端を発した新型コロナウイルスは、各所に深刻な影響をもたらし、特に子育て中の困窮家庭にとってその影響はとてつもないものでした。そんな困窮する家庭を支援しようと水戸地区社会福祉法人連絡会は、2021年よりフードパントリー（食料配付）事業に力を入れています。このフードパントリー事業を行う水戸地区社会福祉法人連絡会は、水戸市に事業所のある社会福祉法人、賛助会員ら51法人が集い2015年に発足した法人連絡会で、法人相互の情報共有や福祉サービスの資質向上などを目的として立ち上げられました。現在は、このフードパントリー事業のほか、専門知識の深化を目的とした各種研修会や、高齢者関係・障害者関係・子ども幼児教育関係など多彩な会員法人が揃う連絡会の専門性を生かした、福祉よろず相談などが、主たる活動となっています。



水戸市社協 地域福祉課長 中崎 恵氏

～法人連絡会活動の更なる充実に向けて～

連絡会活動の軸となっているフードパントリー事業は、年1回12月中旬に行われ、今年も12月14日に実施が予定されています。会員法人や会員家庭から未使用食品などを持ち寄って、支援を必要とする世帯へ配付しています。時期的にクリスマスシーズンと重なるため、クリスマスプレゼントを意識した装飾を施してムードを高めるなどの工夫も随所に取り入れ、小さな子どもがいる家庭の方々からは、毎回とても喜んで

頂いているそうです。また、フードパントリー事業は、フードロスの観点から環境問題への貢献という意味でも、その活動はより意義のあるものとなっています。この活動を事務局の立場から支える中崎さんは「連絡会の活動として更なる充実を図るためにも、物資の配付方法や仕分方法などは、実施後の反省を元に年々改善を行っています。これからは会員相互の連携や親睦も深めつつ、様々な活動にチャレンジしていきたいと思います」と語って頂きました。今後の水戸地区社会福祉法人連絡会の活動に、期待と注目度が高まります。



子どもたちに食品を手渡す様子

ふくしまっぴい。



ぬかが
額賀

ゆうすけ
悠介さん

社会福祉法人正和会
特別養護老人ホーム成華園
経営企画課 課長



社会福祉法人正和会は、特別養護老人ホームのほか、デイサービスセンターや居宅介護支援事業所を運営する社会福祉法人です。

額賀悠介さんは、経営企画課長として全般的な法人運営業務を担当しており、特に職場環境の改善や地域との連携に力を注いでいます。

また、ケアマネジャーとしての業務を通じて、利用者と直接接するほか、介護職員初任者研修等の講師となり様々な立場の受講生と関わるなど、法人運営から介護の現場での業務まで、幅広く、多くの方と関わりながら活躍されています。

「この仕事との出会い、やりがい」

額賀さんは、「日々の仕事を進める上で、数値目標を立て、そこにやりがいを見出しています」と言い、法人運営に携わる者としての冷静さを感じました。

社会福祉を学び、卒業後は都内の社会福祉法人にて介護業務の現場で9年にわたって勤務するなど、長期に、様々な経験を積んでいる額賀さんですが、「劇的な体験を通じて福祉の道を歩んできたわけではない」と本人が言うように、その背景が、利用者との関わり以外にもやりがいを見出すという、姿勢に至っているのだと分かりました。

「福祉の仕事もその根幹は、人」



「常に成長をモットーに取り組む仕事への姿勢」

いま力を入れていることについて尋ねると、
「人事考課の制度を変えました。事業所では、部署単位、グループ単位での評価になりがちですが、個人評価をするよう改めました。そのためには面談を数多く重ねる必要がありますが、職員が同じ方向を向くためには、意義のあることだと感じています。」

また、障害のある方、外国籍の方の働きやすい環境づくりにも取り組んでいます。

障害のある方の受入れにあたっては、就労支援事業所と情報共有や相談ができる体制を作り、障害の特性にあった働き方ができるよう、事業所内の分業化なども進めました。

「その結果、利用者と直接向き合う介護職員の負担が軽減し、より介護に専念できるということもありました」と言います。

常に成長がモットーの額賀さんですが、「失敗したらやり直したらいい」と人材の確保、処遇改善など、今後も様々な取り組みをしていきたいと意気込んでいました。



「どんな状況でも楽しめることが大事」

現在の業務での課題は「やはり人材難、人手不足の問題は深刻です。少子高齢社会のなか、それは福祉業界に限らずどの業界でも共通なのでしょうが、特に介護の現場はイメージの問題もあり特に大変ですね。」と言います。

世間のイメージについては、「家族がやっていることの延長、そして体力勝負と見られることが多いですが、実際は知識と経験に基づく専門の仕事」

と言うように、イメージと実状の差がまだまだあるようです。

また、介護・福祉分野に求める人材としては、「介護・福祉はプロセスが大事です。そのプロセスを楽しむことができる人がいいと思います。どうやってできるかを考えることができる、介護・福祉の枠に収めない、枠を広げて考えることができる人がいいですね。」



「地域に必要とされる法人へ」

「障害のある方の雇用に力を入れたいです。」と額賀さんは言います。

それは社会福祉法人としての使命、地域貢献の一つであるとの考えにあります。それを進めていく中で、「地域にとっても、職員にとっても、利用者にとっても必要とされる法人になるのではないかな。それに向けて取り組んでいきたい。」と額賀さんは考えています。

「いかにプライベートを充実させるかを考えています。」という額賀さんですが、共に働く職員のこと、利用者のこと、そして地域のことを考え、前向きに仕事に取り組む“きりり人”です。



「いばらき在宅ケアハラスメント相談窓口」にご相談ください

県社協では茨城県からの委託を受け、在宅介護・看護の現場等における従事者へのハラスメント対策を講じるため、令和6年7月1日より「いばらき在宅ケアハラスメント相談窓口」を設置しました。

ひとりでも多くの方が安全かつ安心して働き続けることができる体制を構築することを目指します。

利用者やその家族からのハラスメント行為にお困りの訪問介護士・訪問看護師等のみなさま、お気軽にご相談ください。



- 1 **相談受付時間** 月曜日～金曜日 10:00～16:00 (※ 土日祝日、12/29～1/3を除く)
- 2 **相談方法** 電話：029-303-7600 メール：homecare@ibaraki-welfare.or.jp
(メールは24時間受付可能ですが、返信までに時間がかかります)
- 3 **相談受付内容** 利用者や利用者家族等からのハラスメントへの対応など
- 4 **相談対象者** 県内の訪問介護、訪問看護事業所等の職員または管理者
- 5 **その他** ・プライバシーは厳守します。 ・相談は匿名でも可能です。

「在宅ケアハラスメント」とは、在宅現場において利用者や家族等から職員への次のような著しい迷惑行為をさします。

・身体的暴力（回避したため危害を免れたケースを含む）
例) ものを投げる、叩く、蹴る、ひっかく

・精神的暴力（個人の尊厳や人格を言葉や態度によって傷つけたり、おとしめたりする行為）
例) 大声を出す、怒鳴る、理不尽な要求をする、威圧的な態度をとる

・セクシャルハラスメント
(性的な誘いかけ、性的ないやがらせ行為、好意的態度の要求等)
例) 必要もなく触る、抱きしめる、性的な話をする

令和6年度 福祉サービス苦情解決研修会開催のお知らせ

茨城県運営適正化委員会では、福祉サービスを提供する事業所が利用者等からの苦情に適切に対応するため、苦情解決の在り方についての研鑽を深め、福祉サービスの向上に寄与することを目的として研修会を開催します。研修会の詳細や参加申込方法につきましては、本会ホームページをご覧ください。

- 1 **日時** 令和6年10月24日(木) 13時30分～15時30分(予定)
 - 2 **開催方式** Zoomによるオンライン研修
 - 3 **対象者** 福祉サービス事業所の苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員、役職員、相談援助に関わる職員等
 - 4 **参加費** 無料
- 問** 福祉事業部 TEL: 029-244-3147



▲福祉サービスの苦情相談 QRコード

広告

茨城県社会福祉法人経営者協議会入会のご案内

茨城県社会福祉法人経営者協議会は、県内における社会福祉施設の経営主体である社会福祉法人等の相互啓発と連絡協力を図り、社会福祉法人等の健全な発達と社会福祉事業の発展に寄与することを目的とする団体です。

詳細につきましては、ホームページでご案内しております。ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問合せください。

問 〒310-0851 水戸市千波町1918 TEL029-350-8585 FAX029-241-1434
ホームページ <https://www.ibaraki-welfare.or.jp/keieikyo/>



協働型災害ボランティアセンター運営セミナーを開催しました

災害の種類・規模によっては、地域外からの支援が困難な状況が想定され、被災地の市町村社協と地域の関係者が主体となった、協働型の災害ボランティアセンター（以下災害VC）の運営が求められます。

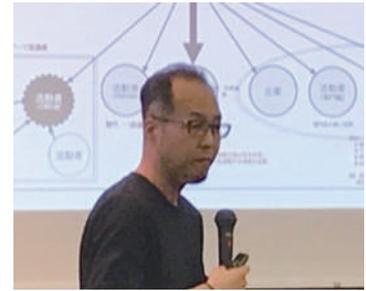
今回のセミナーでは、市町村社協の事務局長や災害担当者、茨城県防災ボランティアネットワーク構成団体等を対象に実施しました。

はじめに、現在も支援活動が続く、能登半島地震の支援状況について、講師であるNPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長の李仁鉄氏から説明いただきました。

今回の震災では、講師の地元である新潟市でも災害VCが立ち上がりましたが、初動から防災士会等の協力を得ることができ、支援者を中心に運営することができたため、普段から地域住民と接し、困りごとを聞き取る専門家である社協職員の多くが、被災者の訪問調査を行うことが出来たとのことでした。

災害VC運営は、運営支援者や来てくれたボランティアの持つ経験や特殊技能を考慮し、様々な活動ニーズにも支援の手を広げていくことが望ましい、とのことでした。

このように様々な人が得意分野で活動できる状況を作ることは、地域づくりにおいても重要です。講師の『『災害に強い地域』よりも『災害にも強い地域』の方が強い』という言葉が印象的でした。



講師 李仁鉄氏

進学される方を応援しています～教育支援資金貸付制度のご案内～

本会では、低所得世帯を対象に、高等学校、専門学校、短大、大学に進学される際の費用を、無利子で貸付ける制度を実施しています。

「将来の夢があり進学したい（させたい）、けれど学費を支払うことが難しい…」と進学を断念される前に、お住まいの市町村の社会福祉協議会へご相談ください。

＜教育支援資金貸付制度の内容＞

教育支援費…学校教育法に規定する高等学校、大学（専門職大学を含む）、短大（専門職短大を含む）、高等専門学校への進学に必要な費用

就学支度費…上記学校への入学に際し必要な経費（ただし、入学時にのみ必要な費用）

資金種類	対象世帯	貸付限度額	据置期間	償還期限	貸付利子	連帯借受人
教育支援費	低所得世帯※ ¹	高校 月額 35,000 円※ ²	学校卒業後 6 月以内	20 年以内	無利子	必要 生計中心者が 連帯借受人と なる
		高専 月額 60,000 円※ ²				
		短大 月額 60,000 円※ ²				
		大学 月額 65,000 円※ ²				
就学支度費		500,000 円				

※1…独立自活に必要な資金の融通を他から受けることが困難であると認められる世帯で、所得基準が生活保護法にいう生活扶助基準の概ね 1.7 倍以内

※2…教育支援費については、特に必要と認める場合、上記貸付限度額の 1.5 倍までを上限とします。

教育支援資金以外にも、他機関が実施している各種奨学金があります。

教育支援資金貸付制度を利用する前に、他の制度が優先となりますので、ご確認ください。



【例】 1 日本学生支援機構 ①給付奨学金制度 ②第一種（無利息）・第二種（利息有）奨学金制度
2 茨城県 ①茨城県奨学資金 ②母子父子寡婦福祉資金（修学資金）等

問 生活支援部 TEL : 029-244-4559 (音声案内 9 番)

社会福祉事業従事者研修のご案内

茨城県内の社会福祉施設・事業所等に従事する役職員の更なる資質向上を図るため、テーマ別・階層別にさまざまな研修を実施しています。

組織として、職員の資質向上・定着の観点からも、研修計画を立てて取り組みましょう。

今年度は44本の研修を開催予定です。研修システムページに、今年度の研修体系表及び月別予定表を掲載しています。

◎令和6年11月～令和7年1月開催の研修

11月	7日～8日	ファシリテーション研修	集合型
	14日	福祉現場における事業継続計画（BCP）運用研修〔新規〕	集合型
	28日	発達障害研修（子どもの支援編）	集合型
1月	23日	業務改善力向上研修	集合型 又はライブ配信
	30日	アンガーマネジメント研修B	集合型
	調整中	給食担当職員研修	集合型 又はライブ配信

12月	6日	保育担当職員研修	集合型
	12日	コーチング研修B	集合型
	16日	ハラスメント研修（アサーションスキル）	集合型
	26日	チームリーダー研修B	集合型
	調整中	労務管理とコンプライアンス研修	録画配信

※研修により、申込期限や定員の設定があります。
※研修の中止や延期、あるいは実施方法を変更する場合があります。

問 福祉人材・研修部
TEL：029-244-3755

詳細は「茨城県社協研修システム」ページ（右記QRコード）をご覧ください。



▲研修システムQRコード

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和6年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
こちらから
(ふくしの保険ホームページ)



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

保険金額・年間保険料（1名あたり）

団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

保険金の種類	プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
	特定感染症	補償開始日から補償 ^(*)		
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷	×	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	

*特定感染症についても10日間の免責期間がなく、補償開始日から補償対象となります。
なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの交替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00～17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30～17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

INFORMATION

お知らせ ハローワークで出張相談会を行っています！

茨城県福祉人材センターでは、県内6か所のハローワークにおいて、出張相談会を行っています。

会場・日程 (10月～12月開催分)

●ハローワーク水戸

TEL:029-231-6221 (部門コード41#)

日程

10月31日 (木)	11月28日 (木)	12月26日 (木)
---------------	---------------	---------------

●ハローワーク土浦

TEL:029-822-5124 (内線41#)

日程

10月15日 (火)	11月19日 (火)	12月17日 (火)
---------------	---------------	---------------

●ハローワーク日立

TEL:0294-21-6441 (内線41#)

日程

11月8日
(金)

●ハローワーク筑西

TEL:0296-22-2188 (内線41#)

日程

10月9日 (水)	12月11日 (水)
--------------	---------------

●ハローワーク龍ヶ崎

TEL:0297-60-2727 (内線41#)

日程

10月8日 (火)	12月10日 (火)
--------------	---------------

●ハローワーク常陸鹿嶋

TEL:0299-83-2318 (内線41#)

日程

11月13日
(水)

相談時間 (共通)

おひとりあたりの相談時間の目安は45分です。

予約の際に、下記の①～③の枠の中から、ご希望の時間をお伝えください。
※各枠先着順となります。

①13:00～13:45

②13:45～14:30

③14:30～15:15

皆様のご参加をお待ちしています。

☎ 茨城県福祉人材センター
TEL:029-244-4544

お知らせ 茨城県交通遺児福祉基金
高等学校卒業者等激励金
のご案内

交通事故により保護者を亡くされた、高校等を卒業する交通遺児の方に激励金25万円を贈呈します。

【対象者】

交通事故により保護者を亡くされた交通遺児で、次の①または②に当てはまる方。

- ①茨城県内に居住しかつ、茨城県内の次の学校を令和7年3月に卒業予定の生徒。
 - ・高等学校・中等教育学校
 - ・特別支援学校高等部
 - ・高等専門学校
 - (3年生修了時)

- ②令和6年度の高等学校卒業程度認定試験で合格となった方。

【贈呈金額】

25万円

【手続きに必要な書類】

- ①申請書
- ②交通事故による死亡確認のできる公的書類
- ③世帯の戸籍謄本
- ④住民票謄本
- ⑤学生証、在学証明書、卒業見込み証明書のいずれか
(高等学校卒業程度認定試験合格者は合格が確認できるもの)

【申請期間】

令和6年9月1日～
12月27日

☎ 福祉のまちづくり推進部
TEL:029-243-3805



詳しくはこちら→

お知らせ 未就学児保育料一部助成金のご案内

保育士・保育教諭及び幼稚園教諭として過去1年以上業務に就いていない方が、新たに就労した場合、未就学児の保育料の半額を助成します。

※令和6年10月以降、本ホームページに申請方法を掲載予定です。

【募集期間】

令和6年10月24日～
令和7年1月31日 (予定)

【対象者】

未就学児がいる方で、過去1年以上保育所等での勤務経験が無く、新たに保育士・保育教諭又は幼稚園教諭として週20時間以上勤務している方。

【助成金額・期間】

保育料月額のご負担分の半額(上限2万7千円)を最大で12ヶ月(令和6年4月～令和7年3月)

☎ 福祉人材・研修部

(人材自立育成担当)

TEL:029-350-8366

お知らせ 福祉のお仕事就職相談会
“秋”開催します！

筑西市・アルテリオ

10/14
月・祝



鹿嶋市・鹿嶋勤労文化会館

11/10
日



☎ 茨城県福祉人材センター
TEL:029-244-4544

わかち合おうみんなの善意 <令和6年4月～令和6年6月善意金等の預託と払い出し状況> (敬称略)

善意金

預託者名	金額 (円)
仲川喜代美	500,000
(株)ライズ	33,010
世界チョコレートフェスティバル 実行委員会	60,000
茨城県遊技業協同組合	1,500,000
合計	2,093,010

交通遺児福祉基金

預託者名	金額 (円)
幡谷浩史	1,000,000
合計	1,000,000



善意品

預託者名	善意品	払出先名
(株)セブン-イレブン・ジャパン	食料品・日用品	茨城町社会福祉協議会
(公財)報知社会福祉事業団	プロ野球公式戦観戦チケット 10枚	県内児童養護施設
OCTAVO(株)	JIUJIU サージカルマスク 45箱	県内市町村社協・社会福祉施設

使用済み切手・使用済みテレホンカード等

預託者名		
茨城県水戸県税事務所総務課	茨城県腎臓病患者連絡協議会	プルデンシャル生命保険株式会社 水戸支社
茨城県心身障害者福祉協会	三井住友海上火災保険株式会社 茨城支店	(財)茨城県建設技術管理センター リサイクル事業部
すみれ第二保育園	茨城県水戸生涯学習センター	富士フイルムビジネスイノベーション ジャパン(株)茨城支社
田原 純子	茨城県平和大使協議会	(株)令和建材
(財)茨城カウンセリングセンター	岸本 哲	水戸米沢郵便局
匿名(5件)		
茨城県保健医療部 健康推進課、茨城県福祉部 長寿福祉課・障害福祉課 神栖市、水戸市、小美玉市、牛久市、筑西市、常総市、美浦村、八千代町、稲敷市、石岡市、龍ヶ崎市、守谷市、取手市、 阿見町、土浦市、ひたちなか市、日立市の各社会福祉協議会		



世界チョコレートフェスティバル実行委員会様



茨城県遊技業協同組合様



幡谷浩史様



(株)セブン-イレブン・ジャパン様

いばらきの社会福祉

Social Welfare of IBARAKI

発行者 / 社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会

〒310-8586 茨城県水戸市千波町1918

TEL:029-241-1133(代)

FAX:029-241-1434

ホームページ <https://www.ibaraki-welfare.or.jp>Facebook <https://www.facebook.com/ibarakikenshakyo>E-Mail ibashakyo@ibaraki-welfare.or.jp

※本誌が不要な方は恐れ入りますがご連絡ください。送付を停止させていただきます。

なお、ホームページからダウンロードしてご覧いただくこともできます。